

## 具体的な対応方法

※下記の対応は、設備改修が行われるごとに必要になります。

### ①テレビ

設備改修実施後、一部のBSチャンネルが受信できなくなった場合



設備改修を行わないBSチャンネルの視聴（※1）をした後、元のBSチャンネルを選局する、もしくは、リモコンのチャンネルの上下ボタンを操作し、映像が表示される別のBSチャンネルを一度選局し、30秒程度視聴し、その後元のBSチャンネルを選局する方法が有効です。

### ②レコーダー

設備改修実施前に、設備改修実施後の番組を録画予約する場合



設備改修を行うBSチャンネルの番組の場合、そのまま録画予約を実行すると、録画が失敗するおそれがあります。録画失敗を回避するためには、一般的に、設備改修を行わないBSチャンネルの視聴（※1）やダミー録画（※2）、機種によっては設備改修実施後に録画予約の再設定を行う方法が有効です。設備改修を行わないBSチャンネルで電源オフ（※3）のみでよい機種もあります。

#### ※1：設備改修を行わないBSチャンネルの視聴

設備改修実施後に、設備改修を行わないチャンネル（NHKのBS1、BS-TBS、BS日テレ等）を一度選局し、30秒程度視聴してから元のチャンネルの視聴や録画を行うこと。

#### ※2：ダミー録画

設備改修実施後の午前6時～午前7時頃の時間帯で、設備改修を行わないチャンネル（NHKのBS1、BS-TBS、BS日テレ等）の適当な番組でダミーの録画予約をし、この録画を実行させること（EPGが表示されるのは8日前からのため、設備改修実施日の8日前からEPGからの予約が可能）。これにより、次の予約録画は新しいBSチャンネル配置情報で行われるため、予約録画失敗の回避策として有効。（一部のメーカーの機種に有効）

#### ※3：設備改修を行わないBSチャンネルで電源オフ

設備改修実施日の前日もしくは設備改修実施前に録画機の電源を入れる最後の日に、設備改修を行わないチャンネル（NHKのBS1、BS-TBS、BS日テレ等）に選局してから、録画機の電源をリモコンによりOFF（待機モード）にすること。これにより、予約録画が実行される前に録画機の電源が入り、新しいBSチャンネル配置情報が取得されるため、予約録画失敗の回避策として有効。（一部のメーカーの機種に有効）